

(兼題)

「トマト」 小豆沢歌子 選

佳句
 綺麗過ぎ昔の味のないトマト ちかし
 太陽や土と話をしたトマト あきら
 お喋りのもっとも好きなミニトマト 寿美
 裂けたトマト悲しいことがあったのか 玲子
 何も彼も呑み込みトマト真っ赤っ赤 美智子
 人
 店頭で笑顔振りまくミニトマト 多久和敬子
 幸せの余韻に浸るミニトマト 多久和博子
 天
 捨てられた理由は言わぬミニトマト 珍部美江子
 軸吟
 セレナーデ聞いてトマトはよく熟れる 小豆沢歌子

(兼題)

「炎」 今岡 健柳 選

佳句
 反戦の炎は消せぬ八月忌 淞丘
 残り火が炎えてきそうな星の夜 歌子
 炎出し酒が言わせたプロポーズ 美江子
 消えそうな炎大事に介護する 美千代
 たいまつの炎がゆれて伝来る らんまん
 人
 君とまた炎一つに燃やす夜 西坂 瑞人
 地
 九条を護る炎は絶やさぬ 伊藤 玲子
 天
 炎にも菩薩にもなるミステリー 多久和博子
 軸吟
 炎出て右に左におはらいす 今岡 健柳

(兼題)

「いたわる」 岡 あきら 選

佳句
 いたわりの雨に微笑む百日紅 淞丘
 遠回りして独居を覗く温い顔 寿美
 いたわっていたわり合って青い空 敬子
 慰勞する俺から俺の縄のれん ちかし
 いたわる手息子がそつと肩をもむ 博子
 人
 いたわりに心のプーケそつと添え 吉川らんまん
 地
 無理するな我慢するなと帰省の子 伊藤 寿美
 天
 いたわりも叱咤もくれる里の海 竹治ちかし
 軸吟
 いたわりの心は何時もポケットに 岡 あきら

(席題)

「学ぶ」 竹治ちかし 選

人
 敗戦に学び微蓄を考える 伊藤 玲子
 地
 行く度びも転びつかんだ予防策 伊藤 玲子
 天
 反面を学んで視野が広くなり 岡 あきら
 軸吟
 失敗の数だけ学び今の僕 竹治ちかし